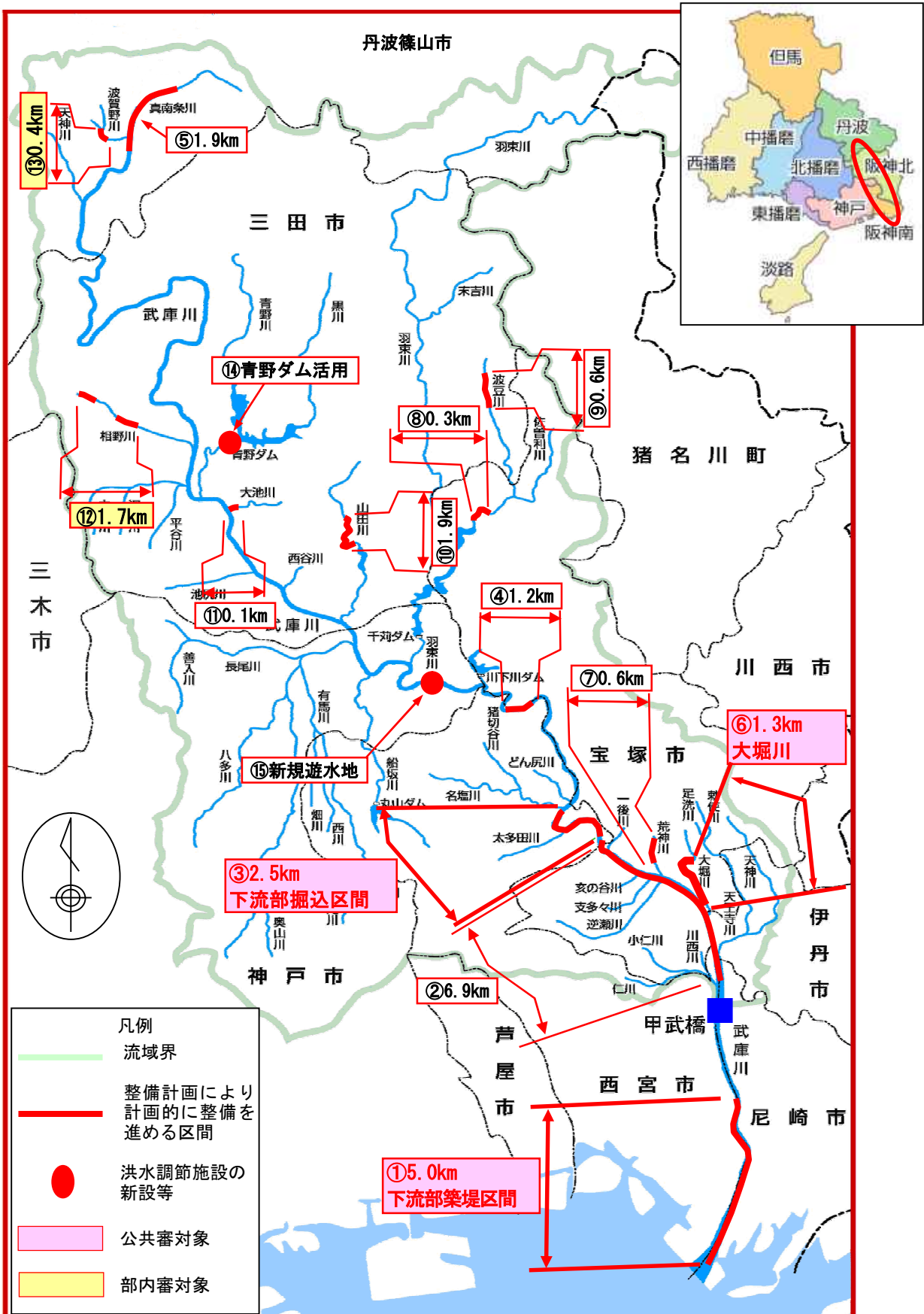


投資事業評価調書（継続：再評価〔第1回〕）

部課室名	県土整備部土木局 武庫川総合治水室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	武庫川総合治水室長 八尾 昌彦 (武庫川企画班長 吉牟田 竜太)	内線	4441 (4424)	
事業種目	河川事業	水系名	武庫川水系			
事業目的						
武庫川水系において、平成23(2011)年8月に策定した河川整備計画に基づく流下能力を確保することにより、治水安全度を向上させ、地域住民の安全・安心を確保する。						
武庫川水系河川整備計画における「計画的に整備を進める区間」						
本川						
	区間	延長	整備目標流量	事業の状況	前回評価年度	
①	武庫川 下流部築堤区間 [河口～JR 東海道本線下流]	5.0km	戦後最大の昭和36年6月27日洪水を安全に流下	こうぶ 甲武橋：3,200 m ³ /s	事業中	H24(2012) 策定報告
②	武庫川 下流部掘込区間 <small>なまぜおほし</small> [仁川合流点～生瀬大橋]	6.9km		なまぜ 生瀬：2,700 m ³ /s	未着手	(評価対象外)
③	武庫川 下流部掘込区間 <small>なじお</small> [生瀬大橋～名塩川合流点]	2.5km		生瀬：2,700 m ³ /s	事業中	H24(2012) 策定報告
④	武庫川 中流部 <small>ただお</small> [武田尾地区]	1.2km		武田尾：2,600 m ³ /s	H30(2018) 完了	・武田尾住宅地区 H24(2012)新規評価 (公共審対象外) ・武田尾温泉地区 H25(2013)新規評価 (公共審対象外)
⑤	武庫川 上流部 <small>いわはな やまざき</small> [岩鼻橋～山崎橋]	1.9km		岩鼻橋：110 m ³ /s	事業中	(評価対象外)

支川					
区間	延長	整備目標流量		事業の状況	前回評価年度
⑥ おおぼり 大堀川 [西田川橋～西ノ町橋]	1.3km	戦後最大の 昭和58年9月26日洪水を 安全に流下	50 m ³ /s	事業中	H24(2012) 策定報告
⑦ こうじん 荒神川 [国道176号～荒神橋]	0.6km		39 m ³ /s	事業中 (市施工)	(評価対象外)
⑧ はず 波豆川 [たきもとしま 滝本橋～島橋]	0.3km	戦後最大の 昭和36年6月27日洪水を 安全に流下	160 m ³ /s	事業中	(評価対象外)
⑨ 波豆川 [中河原橋～護魔池]	0.6km		65 m ³ /s	R1(2019) 完了	(評価対象外)
⑩ やまだ 山田川 [山田ダム上流1,050m ～といし 砥石橋上流500m]	1.9km		100 m ³ /s	事業中	(評価対象外)
⑪ 大池川 [JR福知山線橋梁 ～国道176号上流50m]	0.1km		40 m ³ /s	H28(2016) 完了	(評価対象外)
⑫ あいの 相野川 [ほら 洞橋～2級河川上流端]	1.7km		45 m ³ /s	事業中	H25(2013) 新規評価 (公共審対象外)
⑬ はがの 波賀野川 [にしかど JR福知山線橋梁～西角橋]	0.4km	戦後第2位の昭和36年 6月27日洪水を安全に 流下	25 m ³ /s	事業中	H26(2014) 新規評価 (公共審対象外)
⑭ 洪水調節施設 [青野ダムの活用]	—	予備放流の拡大により洪水調節容量を560 万m ³ から600万m ³ に40万m ³ 拡大		未着手	—
⑮ 洪水調節施設 [新規遊水地の整備]	—	甲武橋地点の洪水流量を20 m ³ /s低減		H30(2018) 完了	H24(2012) 策定報告

武庫川水系武庫川 河川整備計画 全体位置図



① 武庫川 下流部築堤区間

事業概要および進捗状況			今回評価内容 (): 前回評価時点				
工区	事業区間	整備内容		全体事業費	進捗率	残事業費	完成予定年度
①武庫川 下流部築堤区間 [住宅市街地基盤整備事業] [広域河川改修事業]	河口 ～JR東海道本線下流 尼崎市、西宮市	河床掘削 低水路拡幅 橋梁架替 横断工作物 撤去・改築 橋梁架替	事業費	280億円 (160億円)	41% (4%)	164億円 (153億円)	R12 (R12)
			内用補	7億円 (-)	17% (-)	5.8億円 (-)	

事業を取り巻く社会経済情勢等の変化	<p>平成30(2018)年7月豪雨や令和元(2019)年東日本台風、令和2(2020)年7月豪雨など、全国で記録的な降雨による災害が頻発していることから、地域住民の河川改修に対する要望がさらに強まっている。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画の変更概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 河床掘削の残土処分地の変更（大阪湾阪南港沖の窪地）による事業費の変更 [63億円の増加] 河床掘削土量の変更（89万m³→100万m³）による事業費の変更 [15億円の増加] 潮止堰撤去に伴う遮水矢板の増工による事業費の変更 [12億円の増加] 南武橋架替費用の増大による事業費の変更 [30億円の増加] 	
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 低水路拡幅工事区間2.7kmのうち、2.0kmが令和2年度末までに完成予定 南武橋架替工事は平成30年度から着手し、令和4年度に完成予定 河口部の河床掘削は平成30年度から着手 	
評価視点	評価結果の説明	
審査会意見及び対応方針 (H24年度策定報告)	【審査会意見】 意見なし	【対応方針】 -
(1) 必要性	<p>流域では昭和36(1961)年、平成11(1999)年、平成16(2004)年、平成26(2014)年などに発生した洪水により、甚大な浸水被害が発生している。また、平成30年(2018)7月豪雨や令和元(2019)年東日本台風、令和2(2020)年7月豪雨など、全国で記録的な降雨による災害が頻発していることから、河川改修に対する要望も強く、事業の必要性は高い。</p> <p>【過去の主な浸水被害※】 ※武庫川流域全体の被害戸数</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和36(1961)年豪雨 [浸水家屋12,354戸] 平成11(1999)年豪雨 [浸水家屋1,038戸] 平成16(2004)年台風第23号 [浸水家屋225戸] 平成26(2014)年台風第11号 [浸水家屋10戸] 	
(2) 有効性 ・効率性 (事業執行環境)	<p>①費用便益比：B/C=12.4（河川整備計画における全ての事業による費用便益比）</p> <p>②河川整備基本方針は平成21(2009)年3月、河川整備計画は平成23(2011)年8月に策定済。</p> <p>③武庫川の洪水氾濫想定区域には、約108万人が居住しており、河川改修に対する関心は高く、早期改修の要望が挙がっている。</p>	
(3) 環境適合性	<p>武庫川の河川整備計画では、環境に関して「流域内で種の絶滅を招かない」「流域内に残る優れた生物の生息空間の総量を維持する」という2つの原則を掲げており、生物環境の保全に努めている。</p>	
(4) 優先性	<p>事業区間には人家連担区域が含まれており、流下能力不足による大きな浸水被害が想定されており、優先性は高い。</p>	
の再評価結果	継続	左の理由 事業の必要性は、近年の災害の頻発化を踏まえると事業採択時よりも増している。地域住民の安全・安心な生活環境を確保するため、事業を継続して早期に事業完了する必要がある。

③ 武庫川 下流部掘込区間

事業概要および進捗状況				今回評価内容 () : 前回評価時点			
工区	事業区間	整備内容		全体事業費	進捗率	残事業費	完成予定年度
③武庫川 下流部掘込区間 [住宅市街地基盤整備事業] [広域河川改修事業]	生瀬大橋 ～名塩川合流点 西宮市生瀬町 ～塩瀬町	河床掘削 護岸・築堤 橋梁架替	事業費	33億円 (33億円)	52% (0%)	16億円 (33億円)	R12 (R12)
			内用補	11億円 (11億円)	36% (0%)	7億円 (11億円)	

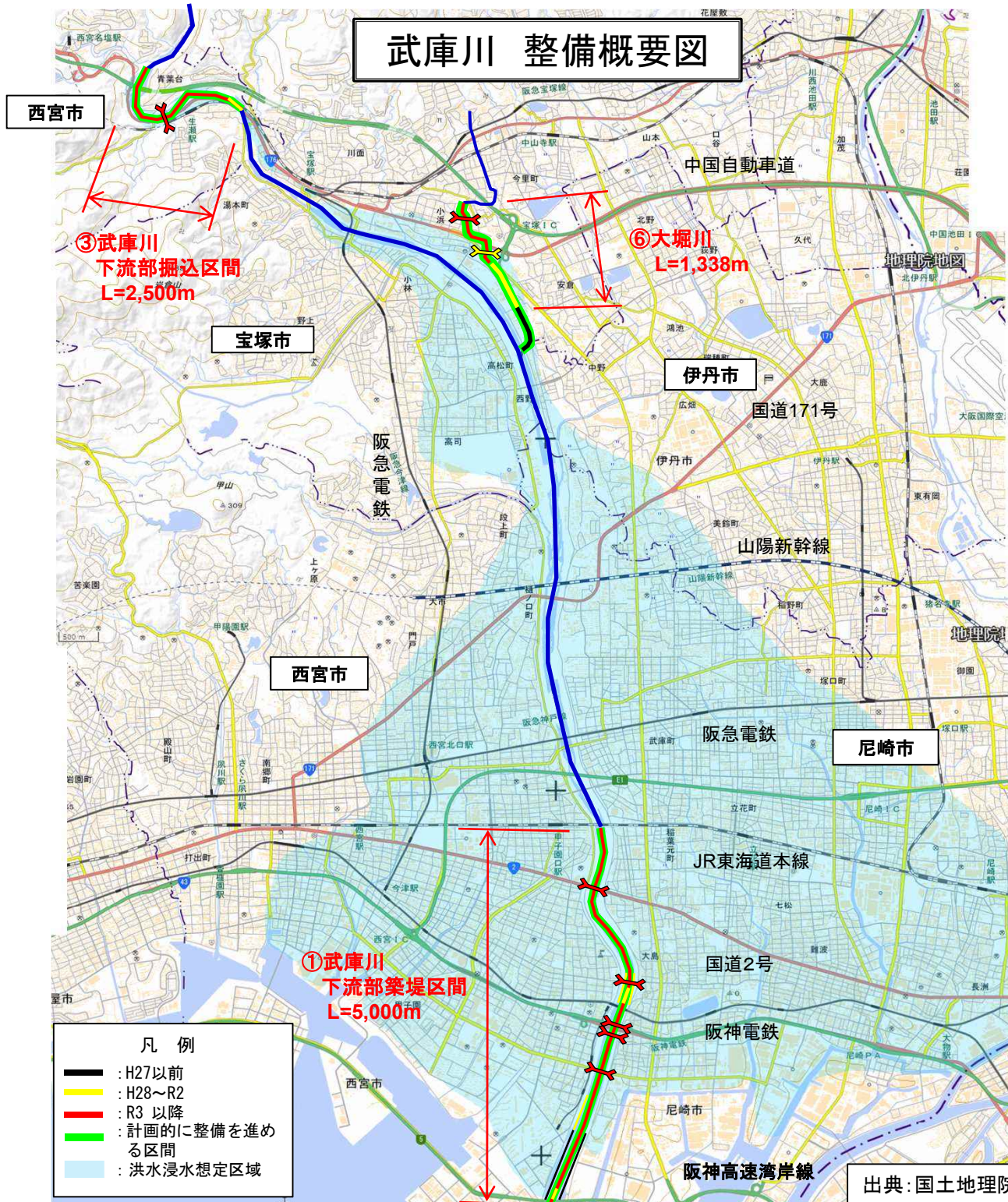
事業を取り巻く社会経済情勢等の変化	平成30(2018)年7月豪雨や令和元(2019)年東日本台風、令和2(2020)年7月豪雨など、全国で記録的な降雨による災害が頻発していることから、地域住民の河川改修に対する要望がさらに強まっている。	
	【前回評価時点からの事業計画の変更概要】 変更なし	
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 市道西宝橋架替工事は平成30年度から着手し仮橋設置工事中。工事は国道176号(名塩道路)を整備中の国土交通省兵庫国道事務所へ委託しており、令和7年度に完成予定 河床掘削及び護岸整備は令和2年度から着手 	
評価視点	評価結果の説明	
審査会意見及び対応方針(H24年度策定報告)	【審査会意見】 意見なし	【対応方針】 —
(1) 必要性	<p>流域では昭和36(1961)年、平成11(1999)年、平成16(2004)年、平成26(2014)年などに発生した洪水により、甚大な浸水被害が発生している。また、平成30年(2018)7月豪雨や令和元(2019)年東日本台風、令和2(2020)年7月豪雨など、全国で記録的な降雨による災害が頻発していることから、河川改修に対する要望も強く、事業の必要性は高い。</p> <p>【過去の主な浸水被害※】 ※武庫川流域全体の被害戸数</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和36(1961)年豪雨 [浸水家屋12,354戸] 平成11(1999)年豪雨 [浸水家屋1,038戸] 平成16(2004)年台風第23号 [浸水家屋225戸] 平成26(2014)年台風第11号 [浸水家屋10戸] 	
(2) 有効性・効率性 (事業執行環境)	<p>①費用便益比：B/C=12.4(河川整備計画における全ての事業による費用便益比)</p> <p>②河川整備基本方針は平成21(2009)年3月、河川整備計画は平成23(2011)年8月に策定済。</p> <p>③武庫川の洪水氾濫想定区域には、約108万人が居住しており、河川改修に対する関心は高く、早期改修の要望が挙がっている。</p>	
(3) 環境適合性	武庫川の河川整備計画では、環境に関して「流域内で種の絶滅を招かない」「流域内に残る優れた生物の生息空間の総量を維持する」という2つの原則を掲げており、生物環境の保全に努めている。	
(4) 優先性	事業区間には人家連担区域が含まれており、流下能力不足による大きな浸水被害が想定されており、優先性は高い。	
の再評価結果	継続	左の理由 事業の必要性は、近年の災害の頻発化を踏まえると事業採択時よりも増している。地域住民の安全・安心な生活環境を確保するため、事業を継続して早期に事業完了する必要がある。

⑥ 大堀川

事業概要および進捗状況				今回評価内容 (): 前回評価時点			
工区	事業区間	整備内容		全体事業費	進捗率	残事業費	完成予定年度
⑥大堀川 [住宅市街地盤整備事業] [総合流域防災事業]	西田川橋～西ノ町橋 宝塚市 <small>こはま</small> 小浜2丁目 ～ <small>まいたに</small> 米谷1丁目	掘削 護岸 道路橋2橋 暗渠工1箇所	事業費	29億円 (23億円)	45% (3%)	16億円 (22.2億円)	R9 (R7)
			内用補	2億円 (2億円)	50% (0%)	1億円 (2億円)	

事業を取り巻く社会経済情勢等の変化	<p>平成30(2018)年7月豪雨や令和元(2019)年東日本台風、令和2(2020)年7月豪雨など、全国で記録的な降雨による災害が頻発していること、近年浸水被害が頻発していることから、地域住民の河川改修に対する要望がさらに強まっている。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画の変更概要】 国道176号交差箇所のバイパス河川整備による事業費の変更 [6億円の増加] 及び事業期間の延長 [2年延長]</p>	
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 西田川橋から主要地方道尼崎宝塚線までの護岸および河床掘削は令和2年5月に完成 国道176号交差箇所は令和2年度中に詳細設計を行い、令和6年度に完成予定 	
評価視点	評価結果の説明	
審査会意見及び対応方針 (H24年度策定報告)	【審査会意見】 意見なし	【対応方針】 —
(1)必要性	<p>大堀川では昭和58(1983)年、平成9(1997)年、平成11(1999)年、平成12(2000)年、平成16(2004)年、平成19(2007)年、平成30(2018)年、令和2(2020)年などに発生した洪水により、甚大な浸水被害が発生している。また、平成30(2018)年7月豪雨や令和元(2019)年東日本台風、令和2(2020)年7月豪雨など、全国で記録的な降雨による災害が頻発していることから、河川改修に対する要望も強く、事業の必要性は高い。</p> <p>【過去の主な浸水被害】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和58(1983)年台風10号 [浸水家屋450戸] 平成30(2018)年は台風20号 [浸水家屋7戸] など3回浸水 令和2(2020)年は7月降雨 [浸水家屋51戸] など3回浸水 	
(2)有効性 ・効率性 (事業執行環境)	<p>①費用便益比：B/C=12.4 (河川整備計画における全ての事業による費用便益比)</p> <p>②河川整備基本方針は平成21(2009)年3月、河川整備計画は平成23(2011)年8月に策定済。</p> <p>③近年浸水被害が頻発しており、地域住民から早期改修の要望が強い。</p>	
(3)環境適合性	<p>武庫川の河川整備計画では、環境に関して「流域内で種の絶滅を招かない」「流域内に残る優れた生物の生息空間の総量を維持する」という2つの原則を掲げており、生物環境の保全に努めている。</p>	
(4)優先性	<p>浸水被害が頻発しているため、早急な河川改修が必要であり、優先性は高い。</p>	
の再評価結果	継続	左の理由 事業の必要性は、近年の災害の頻発化を踏まえると事業採択時よりも増している。地域住民の安全・安心な生活環境を確保するため、事業を継続して早期に事業完了する必要がある。

武庫川 整備概要図



工区	河川整備計画 全体	河川整備計画策定以前 (H22(2010)以前)	過去5年間 (H28(2016)～R2(2020))	今後5年間 (R3(2021)～R7(2025))	R8年以降 (R8(2026)～R12(2030))
① 武庫川 下流部築堤区間	H23(2011)～R12(2030)年度 【事業費=280億】 ・整備延長 L=5,000m ・整備概要 河床掘削 護岸 整備 横断工作物撤去改築 (潮止堰1基、床土工3基、 鉄道橋1橋、道路橋5橋)	・昭和37(1962)年から 平成13(2001)年度にかけて大阪湾 高潮対策事業を実施し、河口～ 潮止堰まで約2.6kmの区間で堤 防の高上げ等を完了	【事業費=85.6億円】 ・低水路拡幅 L=2,000m ・河床掘削 L=200m ・橋梁架替 1橋(南武橋)	【事業費=100.4億円】 ・低水路拡幅 L=700m ・護岸 L=1,800m ・河床掘削 L=3,100m ・潮止堰撤去 1基 ・橋梁架替 1橋(南武橋) ・道路橋補強 4橋 ・鉄道橋補強 1橋 ・床土工撤去 1基	【事業費=63.5億円】 ・護岸 L=1,700m ・河床掘削 L=1,700m ・床土工改築 2基
③ 武庫川 下流部掘込区間	H23(2011)～R12(2030)年度 【事業費=33億】 ・整備延長 L=2,500m ・整備概要 築堤 河床掘削 護岸 道路橋1橋	未整備	【事業費=15.3億円】 ・橋梁架替 1橋(西宝橋) ・河床掘削 L=300m ・護岸 L=150m	【事業費=8.8億円】 ・河床掘削 L=1,100m ・護岸 L=300m	【事業費=7.7億円】 ・河床掘削 L=1,100m ・護岸 L=200m
⑥ 大堀川	H23(2011)～R9(2027)年度 【事業費=29億】 ・整備延長 L=1,338m ・整備概要 河床掘削 護岸 橋梁2橋 暗渠工1箇所	・昭和48(1973)年から 平成13(2001)年度まで河川局部 改良事業を実施し、武庫川合流 点から西田川橋まで改良済み	【事業費=10.5億円】 ・護岸、河床掘削 L=400m ・橋梁架替 1橋(小浜第一橋)	【事業費=10.1億円】 ・護岸、河床掘削 L=430m ・橋梁改築 1橋 ・暗渠工 1箇所	【事業費=6.7億円】 ・護岸、河床掘削 L=508m

①河川事業 二級河川武庫川水系武庫川[下流部築堤区間] (継続:再評価)

位置図



目的

浸水による家屋・人的被害の防止
河川整備計画(H23)に基づく流下能力不足の解消

事業概要

事業区間: 尼崎市、西宮市
総事業費: 280億円
事業期間: H23~R12
事業概要: 河床掘削100万 m^3 、橋梁架替1橋、橋梁補強5橋、低水路拡幅2,700m、矢板護岸4,500m 他
延長: 5,000m
費用便益費B/C: 12.4*
(*河川整備計画における全ての事業による費用便益費)

浸水実績等 (昭和58年台風10号)



①河川事業 二級河川武庫川水系武庫川 [下流部築堤区間] (継続:再評価)

事業進捗平面図



現況写真

①完成区間(低水路拡幅)



②事業中区間(南武橋架替)



③残事業区間(阪神電鉄付近)



④残事業区間(国道2号付近)



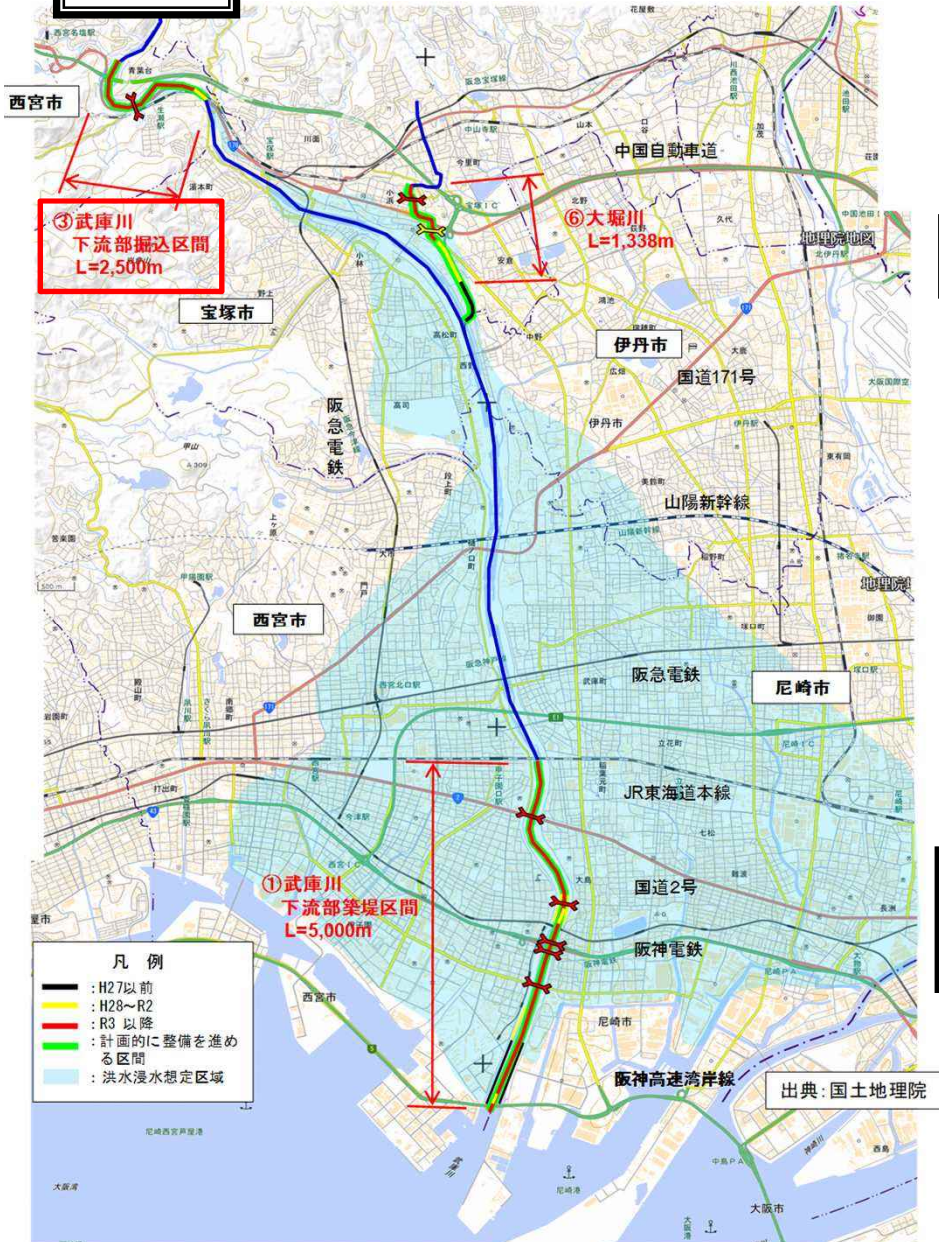
工程表

前回計画 (Blue)
今回計画 (Red)

整備内容	前期										後期											
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
河床掘削																						
低水路拡幅																						
護岸																						
横断工作物撤去・改築																						
橋梁架替等																						

③河川事業 二級河川武庫川水系武庫川[下流部掘込区間] (継続:再評価)

位置図



目的

浸水による家屋・人的被害の防止

河川整備計画(H23)に基づく流下能力不足の解消

事業概要

事業区間:西宮市、宝塚市

総事業費:33億円

事業期間:H23~R12

事業概要:河床掘削16万 m^3 、橋梁架替、護岸2万 m^2
延長:2,500m

費用便益費B/C:12.4*

(※河川整備計画における全ての事業による費用便益費)

浸水実績等

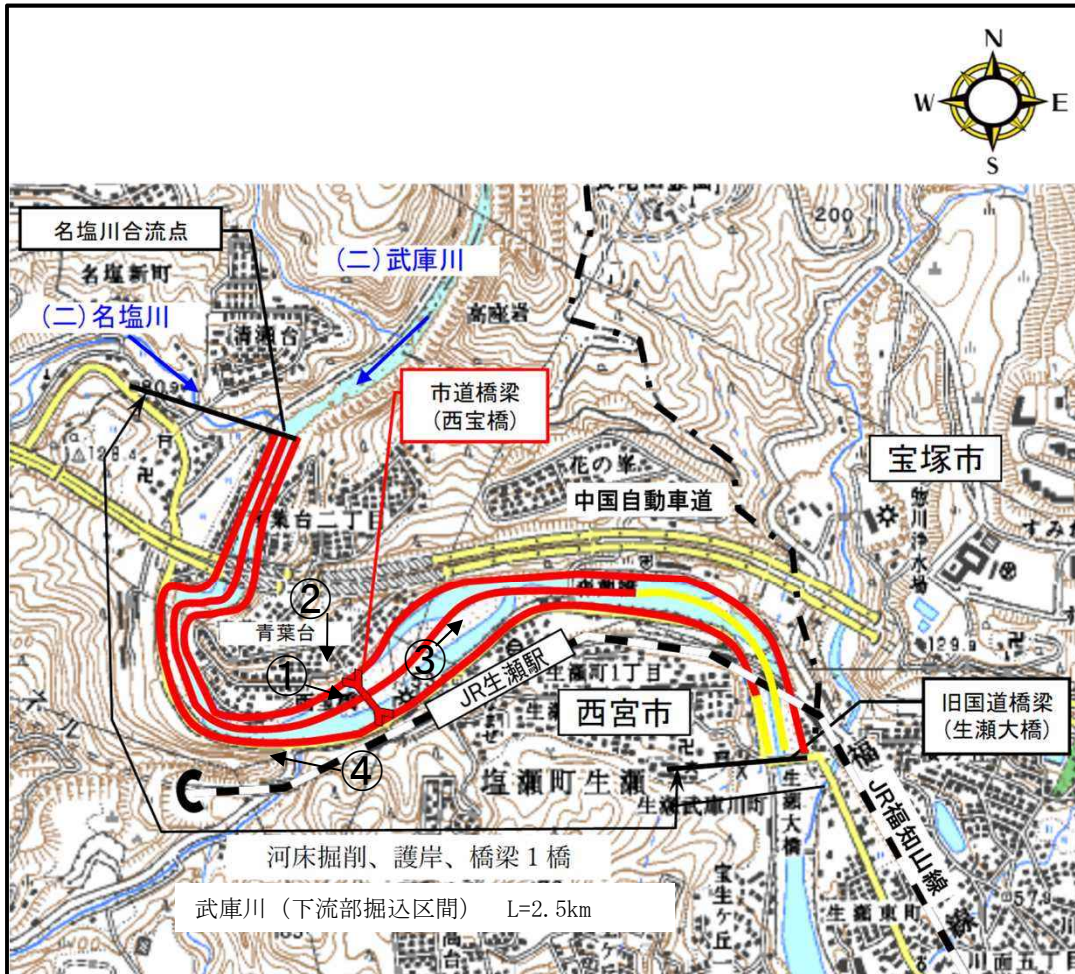
(昭和58年台風10号)



宝塚市街地付近

③河川事業 二級河川武庫川水系武庫川 [下流部掘込区間] (継続:再評価)

事業進捗平面図



現況写真

①事業中区間(西宝橋付近)



②事業中区間(西宝橋車道用仮橋)



③残事業区間(生瀬大橋上流付近)



④残事業区間(西宝橋上流付近)



工程表

前回計画 (light blue)
今回計画 (red)

整備内容	前期										後期											
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
河床掘削																						
護岸・築堤																						
橋梁架替																						

凡例(進捗状況等)

- H27以前
- H28~R2
- R3以降

⑥河川事業 二級河川武庫川水系大堀川（継続:再評価）

位置図



目的

浸水による家屋・人的被害の防止

河川整備計画(H23)に基づく流下能力不足の解消

事業概要

事業区間: 宝塚市

総事業費: 29億円

事業期間: H23~R9

事業概要: 河床掘削1万 m^3 、護岸整備7,700 m^2
 橋梁架替2橋、バイパス河川100m 他

延長: 1,338m

費用便益費B/C: 12.4*

(※河川整備計画における全ての事業による費用便益費)

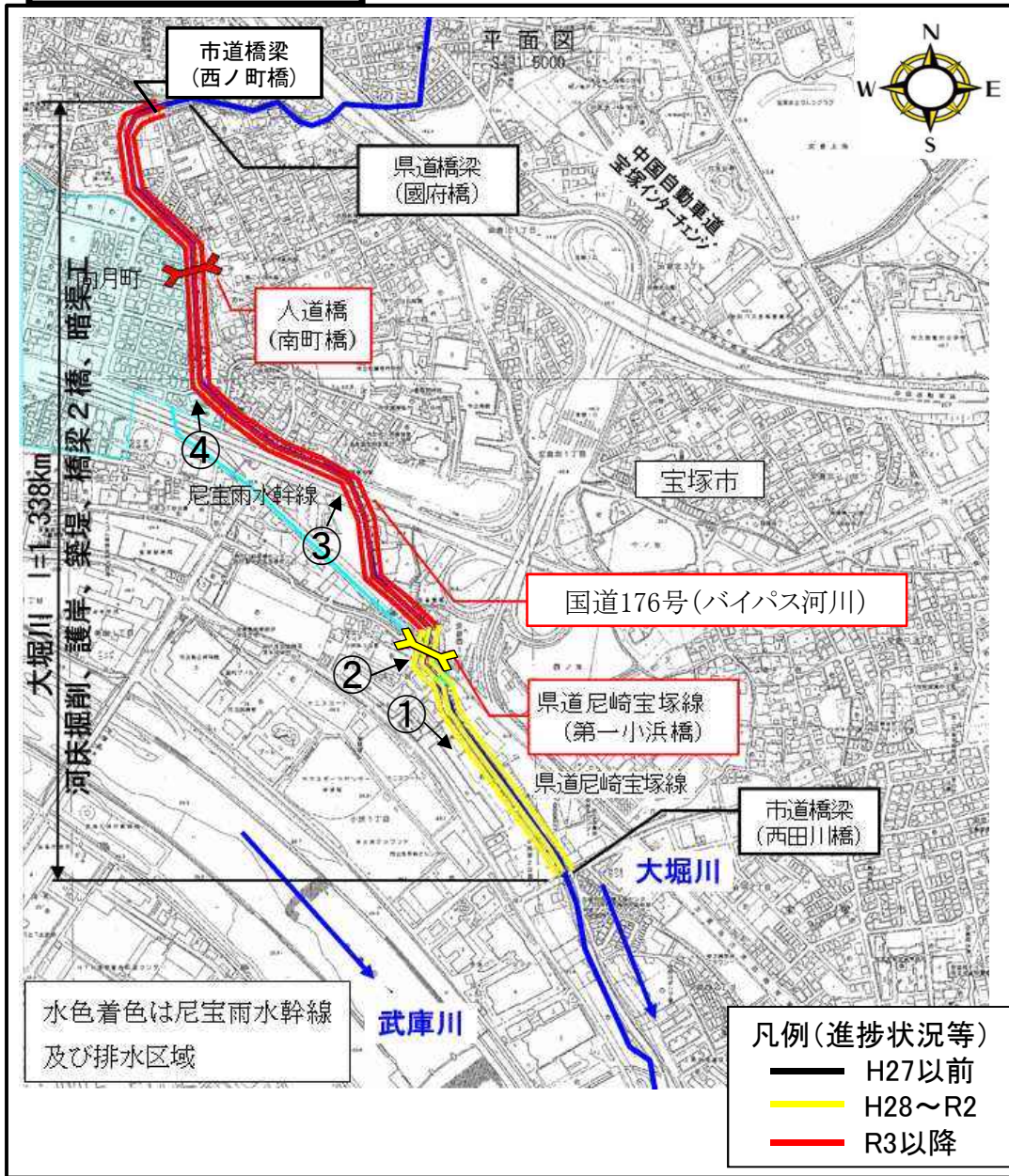
浸水実績等(平成30年台風21号、令和2年7月8日降雨等)



黒銚橋上流↑→

⑥河川事業 二級河川武庫川水系大堀川(継続:再評価)

事業進捗平面図



現況写真

①完成区間(西田川橋上流)



②完成区間(第一小浜橋)



③残事業区間(国道176号交差部)



④残事業区間(向月町付近)



工程表

前回計画 (light blue)
今回計画 (red)

大堀川

整備内容	前期										後期									
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
掘削																				
護岸																				
道路橋2橋																				
国道176号 交差部																				

事業の有効性・効率性

(1) 費用対効果

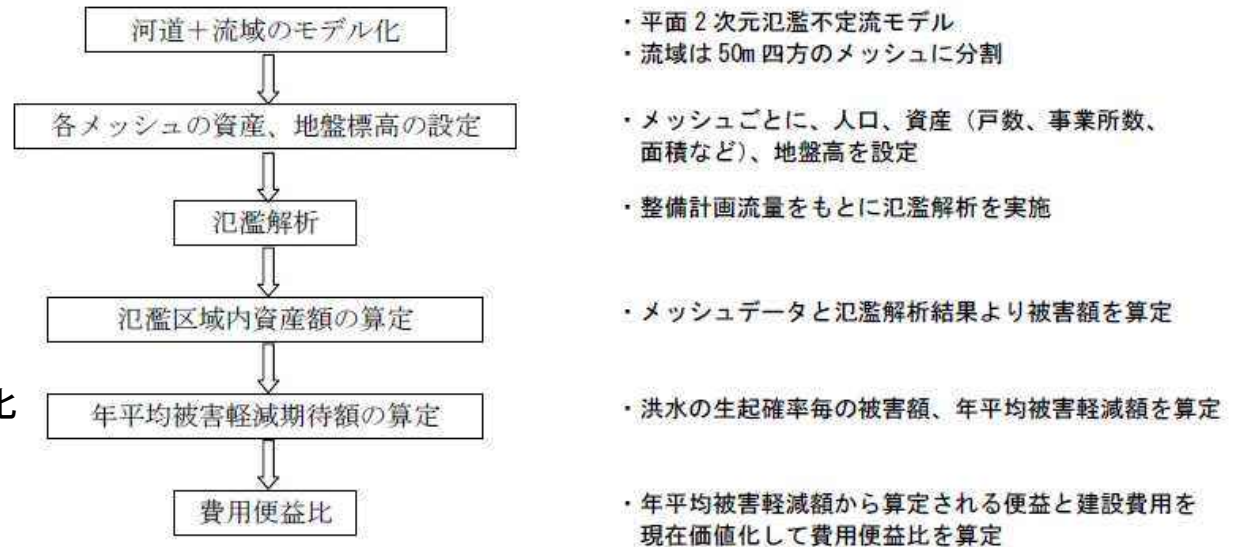
① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)	
治水安全度の向上	浸水被害の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所償却資産、農漁家償却資産等) ・農産物被害、公共土木施設等被害、営業停止被害、応急対策費用

1) 便益 = 「治水事業を実施することによる被害軽減期待額」を現在価値化

被害額 = 一般資産被害 + 農作物被害
 + 公共土木施設等被害
 + 営業停止被害 + 応急対策費用

2) 費用 = 「建設費 + 維持管理費」を現在価値化



② 費用便益比(B/C)算出根拠

B(便益)		C(費用)			B/C
便益額	代表的な効果	総費用	事業費	維持管理費	
662,442 (百万)	戦後最大規模の洪水に対して ・浸水戸数47,197 戸の解消 ・浸水面積1,015ha の解消	53,532 (百万)	49,980 (百万)	3,552 (百万)	12.4

「治水経済調査マニュアル(案)令和2年4月」に基づき便益額を算出

(※河川整備計画に位置づけられた全ての事業による費用便益比)

(2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等	
社会経済活動等の安定	人的被害の軽減	○	・ 想定氾濫区域内人口1,077,746人の被害を軽減
	道路、鉄道等の交通途絶による波及被害の軽減	○	・ JR東海道本線、JR宝塚線、阪急電鉄神戸線、阪神電鉄本線の鉄道交通途絶を軽減 ・ 阪神高速神戸線、中国自動車道、国道2号、国道43号、国道171号、国道176号の道路交通途絶を軽減
	医療・社会福祉施設、防災拠点施設、文化施設等の被害の軽減	○	・ 浸水想定区域内の要配慮者利用施設1,587施設の被害を軽減
	水害廃棄物の発生の軽減	○	・ 想定氾濫区域内世帯441,617世帯等からの水害廃棄物を軽減
魅力ある河川空間の創造	多様な生物の生活環境の保全・再生・創出	○	・ 下流部築堤区間では、1～8号床止工付近でアユの遡上調査を実施して、魚道構造の検討を進めている。 ・ 下流部掘込区間では、礫河原の再生を目指してスライドダウンによる河床掘削を実施している。 ・ 上流部では、河床掘削工事に併せて、オギ群集再生のため現地表土の再利用を行っている。また、二枚貝の移植を実施し、タナゴ類等の生息環境の再生に努めている。

(3) 地域からの要望状況等

要望状況等	神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・宝塚市・伊丹市・三田市・丹波篠山市の8市で構成する阪神西部地域総合治水推進協議会から、武庫川の整備促進要望が上がっている。
-------	---

参考：事業の変遷

昭和60年：昭和58年台風10号を契機に 武庫川水系工事実施基本計画策定
昭和62年：河川改修事業に着手
平成21年3月：武庫川水系河川整備基本方針策定
平成23年8月：武庫川水系河川整備計画策定
平成24年：武庫川水系河川整備計画策定完了報告